2019火山砂防フォーラム 第1回幹事会 議事録

日 時 : 令和元年5月30日(木)

 $9:30\sim10:30$

場 所 : シェーンバッハサボー 3階 『六甲』

開会

挨拶

村上 英人(2019 火山砂防フォーラム委員会委員長、蔵王町長) (要旨)

蔵王山は平成8年に山形県上山市で開催され、今回で2回目、「火山を知り、火山とともに生きる ~活火山 蔵王山との新しいつきあい方~」と題し開催する。

今回は蔵王山という火山からたくさんの恵みを得ていることを知ってもらい、火山に関心を持ち、火山と上手な付き合い方を学ぶことにより、防災意識の向上を目的とする開催としたい。

来賓挨拶

国土交通省 砂防部長 栗原 淳一 気象庁地震火山部火山課長 加藤 孝志

議題

議題 1

◆2018 砂防フォーラム収支決算報告

説明:事務局 土砂災害防止広報センター 池田

資料:資料1 2018火山砂防フォーラム収支決算書

○土砂災害防止広報センター 池田委員から 2018 砂防フォーラム収支 決算報告があり、意義なく承認された。

議題 2

◆2019 火山砂防フォーラムについて

説明:事務局 土砂災害防止広報センター 池田

資料:資料 2 2019 火山砂防フォーラム実施要領案

資料 3 2019 火山砂防フォーラム予算案

資料4 火山砂防フォーラム委員会規約

○土砂災害防止広報センター 池田委員から上記の資料を用いて、2019 火山砂防フォーラムについての実施要領案、予算案、委員会規約につい て説明された。

- ・プログラム構成を研究発表、パネルディスカッションの2部構成とする。
- ・研究発表は蔵王町の永野小学校、遠刈田小学校の5年生の学習発表 とする。また、解説を山形大学の伴教授に依頼中。
- ・パネルディスカッションは「活火山 蔵王山との新たなつきあい方」と題し、コーディネーターを内閣府火山防災エキスパートの池 谷 浩氏、パネリストとしては宮城県側として遠刈田温泉 旅館 源 兵衛 女将佐藤 久美子さん、山形県側は現在調整中ではあるが、 蔵王山の地域振興にかかわる方にお願いをする予定。また、岩手大 学農学部教授井良沢 道也氏、宮城県危機管理監の東海林 清広 氏、蔵王町長の村上 英人。 コメンテーターとしては国土交通省砂防部長の栗原 淳一を予定している。また、ゲスト(客席出演)として、霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局(鹿児島県霧島市)も合わせて予定している。
- ○現地研修会は宮城県コース(午前コース)と宮城県・山形県コース (1日コース)の2コースを用意
- ○実施要領案、予算案共、意義なく、承認された。
- ○監事選任はこれまでの実績により 2017 年の苫小牧市長、2018 年鹿児 島市長が推され、意義なく、承認された。

議題 3 ◆次回開催地について

説明:事務局 土砂災害防止広報センター 池田

資料:資料 5 火山砂防フォーラム開催実績

○2020 火山砂防フォーラムの開催地として嬬恋村より立候補の意向の 報告があり、嬬恋村長より立候補の経緯が説明された。

- ・浅間山・草津白根山を抱える嬬恋村として3回目ではあるが、30回の記念大会を是非嬬恋村で行いたい。
- ・浅間山火山砂防推進協議会が確立され、組織総動員して迎えたい。
- ・250 億円を投じている緊急減災対策を見学して頂くよう、近隣市町村を挙げてお迎えしたい。
- ○嬬恋村の次回開催は意義なく、承認された。

○2021 年開催の立候補を募ったが、立候補無し。後日検討。
◆その他 ○議事無し。
_